



カヤピン



こども おっさんの野望1



趣味(40%)と実益(60%)を兼ねたもので(娯楽)
貯めて名馬巡りの旅放浪を
なんて難しい!実現に向けて
週末に仕事以上に頭を使っている訳でおます!!
叶えたいぞ〜と。



昨年、愛知芸術センターに書道展を見に行きました。ある作品がダイナミックで目に留まった、特に野字の崩したことは魅力を感じました。

野 野 野

読めない漢字があったことで後日に調べたところで意外なことを見つけたり驚きました。



MY

漢字はその昔中国から伝来したことは皆さん知っていると思いますが日本国字(和製漢語)についてちょっとご紹介したいと思います。

近代、明治維新時代頃に日本人が西欧の文化、新概念などを表すために翻訳した和製漢語は哲学、文学、経済、主権、美術、社会主義等800~1000語を超えたです。『和製漢語より』。中国では賛否両論がありますがまずは孫文(そんぶん)(三民主義を掲げ辛亥革命を指導し清朝を倒した)、毛沢東(もうたくとう)中国政治家、思想家、軍事戦略家、中国建国時国家主席である、魯迅(るじゅん)(中国の小説家、翻訳家、思想家、日本仙台に留学)等偉人たちが賛成派であります。今は中国語日常会話及び書籍には和製漢語の使用頻度が非常に高いです、本当に欠かせない存在であると思います。

和製漢語が中国に伝えて行った事は中国と世界を繋ぐ絆となりました。文化交流は国境なしで本当に改めて感じて個人的としては勉強になりました。

最後に今世界を揺している新型コロナウイルスに対してしっかり対応しましょう。一日も早く終息できますように……………。

myでした

よもやまばなし

卯月：桜の間

今日から新年度の始まりですが、お花見を楽しむ季節ですね〜とも言え難い昨今です。しかし、よもや〜の皆さんの話を読ませてもらっていると、改めて好きなことや興味ひくものがあると心が洗われるなど……。

ピアノへのあこがれ

Longing / Love



無趣味である。飽きっぽいからか。ただ、音楽は物心つかないころから好きで続けている。中でも鍵盤楽器に異常に執着がある。



1984

小学生のころ、ピアノ男子はクラスに1人いるかどうかの時代、その1人の家に遊びに行くと、シャンデリアのあるリビングの中央にグランドピアノが置かれていた。幼心にも感じた別世界の豊かな空気。その衝撃がピアノへの憧れに結びついたのでろうと自己分析している。



1987

あれから40年以上過ぎた。我が家にある鍵盤楽器の数は7台(ピアノは含まず)。全て私のコレクションだ。高校時代にバイトしてはじめて購入したシンセサイザーから、転勤が決まった知人から譲り受けたアップライトピアノまで、様々な種類と大袈裟なエピソードがあり、一つとして手放すことができない。ま、家族はただ場所を喰うこれらを粗大ゴミと思っているかもしれないが。



1995

つい半年前には88鍵*の電子ピアノと出会った。

*通常のピアノと同じ鍵盤数



2019

時々立ち寄る中古電化機器店。鍵盤の2カ所が押したあと戻ってこない。楽器としては致命的なジャンク品だ。そのワケアリのためたった1,000円。しかし壊れているなら結局粗大ゴミが増えるだけか?

その日は家に帰り、考えることにした。…戻らない鍵盤を治せないか?

ダメもとで動画サイトを検索すると、ナント同じ機種 of 修理実践が上がっているではないか。いけそうだ、と確信し、我が家に連れて来たのだった。数ヶ所のネジを外し筐体をはがすと、動画の言う通り壊れた箇所があり、2時間ほどの格闘の末、無事修復、納戸に設置し、いつでも弾けるようにした。シャンデリアのリビングではないが。

こんなふうこれからも音楽の旅をずっと続けてゆくのだろう。

花よりも
団子やありて
帰る雁

